

令和8年度立山町地域公共交通会議（第1回）会議録（要約版）

- 1 日時：令和8年5月19日（火） 10：29～11：48
- 2 会場：立山町役場3階 大会議室
- 3 出席者：別紙「立山町地域公共交通会議委員名簿」のとおり
- 4 協議結果：
 - (1) 協議事項第1号 「町営バス AI オンデマンド型実証運行事業」の実施について
 - 運賃を除く大枠について、賛成多数により承認。なお、運賃については、継続協議となった。

[主な意見・質疑応答等（協議事項第1号）]

- 1 実証運行開始後も、町営バスは維持されるのか。
 - 現行の定時定路線のものは、芦峯寺線や伊勢屋線、北部循環線の一部を除いて廃止した上で、デマンド交通を実証運行し、可能であれば令和9年度以降は、これを本格運行に移行したい。
- 2 新たに設けるデマンド交通用の停留所について、冬場の除雪はどうするのか。集落として定期的に除雪をすることは難しい。
 - 現時点では決まっていない。一度内部で検討させてほしい。
- 3 地区内には、バス停留所が増え便利になる集落とバス停留所の総数が減り不便となる集落がある。予算の範囲内で可能であれば、1集落当たり2か所の設置についても認めてほしい。
 - 今回の各集落への照会結果を基に、一度地図上に落とし込んだ上で、全体のバランスを見て2か所目を置くか否かを判断したい。2か所目を希望する集落がある場合には、その旨を回答書に記載していただきたい。
- 4 当地区内には、町が設置を予定する公共施設と集落側のバス停留所設置要望箇所とが近接していることから、「設置を不要」とする意向を持つ集落もある。このような場合に、当該集落の割当分を地区内の他の集落に再割当することを可能とするよう検討してほしい。
 - 「町が設置を予定する公共施設」については、本日は資料を配付していないが、富山地方鉄道の鉄道駅やバス停留所、保育所や学校、町の設置した公共施設などを含めた70か所程度を想定している。このほか、現在照会している集落停留所やこれから交渉する商業施設（スーパー、小売店等）などを加え、総数としては250か所程度と

- なる見込みである。再割当については、先ほど申し上げたとおり。
- 5 運賃が現行の 200 円から 500 円に上がることにについて、年金で生活する高齢者にとっては高いという意見もあったことから、金額については再考いただきたい。
 - 資料にある本町の案については、砺波市や小矢部市の金額設定を踏まえたものとなっている。また、これまでの定時定路線型では、乗り換えが必要であったり、決まった時刻表に合わせた移動が必要であったりしたが、デマンド交通となれば、行きたい時間に行きたい場所に直接行くことができるようになり、利用者にとっての利便性は高まるものと認識している。こうした交通を実現するためには、システム導入、コールセンター設置等に要する費用が新たに発生することから、一定額の運賃の上昇については、ご理解いただきたい。今回の実証事業においては、アンケートを実施する予定としているので、是非皆様のご意見を寄せていただきたい。
 - 6 町からの区長に向けた照会に対しては、区長ごとに認識が異なっている部分があると理解したので、今後予定している会合の中で私から説明したい。運賃が現行の倍以上になるという点については、引っ掛かりを感じた。
 - 本日の資料として配付した「AI オンデマンド運行とは」というイメージ図を区長あての照会時には用意できていなかったこともあり、照会後は、区長からの問合せを電話や対面などで多数頂いている状況。自治振興会の皆様には、区長から問合せがあった場合には、町に問合せを行うようお声掛けいただければありがたい。また、運賃も含めデマンド交通に関してご意見があれば、回答書への記載などによりお聞かせいただければと思う。
 - 7 芦峯寺線は対象外となっているが、芦峯寺の住民が五百石駅まで鉄道で来た場合に、「デマンド交通」を利用することはできるのか。
 - エリア内での利用は可能である。
 - 8 町から示された「公共施設への設置案」については、現時点で確定しているものと認識してよいか。
 - 関係機関には、町の案に含まれていることまでご連絡している。今後は、本案を基に関係機関と協議していきたいと考えており、これらの調整の結果、多少の増減はあるものと思われる。
 - 9 AI オンデマンド交通が通行する道路については、立山町の区域内の道路に限られるのか、あるいは最短経路の中に、富山市や上市町の区域内の道路が含まれることはあり得るのか。

- 今後決定するシステム事業者への確認が必要であるが、現時点では、「上市町などの町外の道路」を通行することはあり得るものと考えている。
- 10 横江駅から五百石駅までの移動時に「デマンド交通」を利用することはできるのか。もしできるとなれば、鉄道や路線バスと競合するのではないか。
- ご質問にあった移動については想定していないが、現時点ではそのような移動自体は可能であると考えている。
- 11 近年県内では、デマンド交通を運行する自治体も増えてきており、担当者からは、予約に大きなハードルがあるとの声や説明会の開催など導入時に非常に苦労したとの声を耳にする。これらの自治体の事例等も十分研究し、利用者にとって利便性の高いより良いサービス（例：乗り放題チケットなど）をつくってほしい。また、この取組が、地元の方が公共交通を考える機会となればよい。
- 町では昨年度、小矢部市、砺波市、射水市、滑川市等を視察し、課題等を整理している。今回のご意見も踏まえ、このあと実施するアンケート等の結果も考慮しながら、サービス改善に努めていきたい。また、町の公共交通の幹である「富山地方鉄道立山線」を軸として、このデマンド交通がエリア全体を補完できる移動手段となるよう取り組んでいきたいと考えているので、ご理解いただきたい。
- 12 当集落で実施した住民向けアンケートの結果から、町営バスの利用者はほとんどいないことがわかった。町には、住民への問い掛けも行いながら、もっと利用者を増やす施策を検討してほしい。
- ご指摘のとおり町営バスの利用者については、1便当たり1人から2人までとなるケースが多く、利用促進は課題の一つであると認識している。今回のデマンド交通の取組により、潜在利用者などを掘り起こす可能性もあるものと考えており、まずはデマンド交通を利用いただけるよう、このメリットなどについて、住民の皆様への説明等を丁寧に行っていきたいと考えている。
- 13 デマンド交通については、当地区の住民はほとんど認知していない状況であることから、広報を工夫してしっかりと行う必要がある。広報たてやまの記事も見たが、分かりにくいと感じた。また、本日配付されたイメージ図についても、「帰り」の予約が必要であるということが明記されておらず、分かりにくい。こうした部分を改善していくべきでないか。
- 区長あての照会時には、本日配付したイメージ図を添付できておら

ず、この点に関しては申し訳なく思う。明後日には、町議会の臨時会が開かれ、ここで関連予算案を提出する予定としているので、6月号の広報たてやまを皮切りに順次周知を進めていきたいと考えている。また、もう一つのご指摘についても、イメージ図を修正することで対応したいと考えている。

14 利用促進策として、今後「無料券（1回分又は2回分）の配付」などは考えられないか。

→ システム事業者が決まれば、頂いたご提案についても協議したい。

15 横江駅から寺田駅までの間をこの「デマンド交通」により移動できるとなれば、鉄道運賃より40円低い額となることから、既存の鉄道利用者がシフトする可能性も考えられる。このことについて、富山地方鉄道株式会社との協議は済んでいるのか。

→ 運賃面では、富山地方鉄道鉄道線の運賃も考慮した上で設定している。今ほどのご指摘も踏まえ、今後協議したいと考える。

16 自家用有償旅客運送に関する登録手続や国庫補助事業については、今ほどあった様々な意見をしっかりと整理・調整された上で進めていただければと思う。また、何よりも安全な運行を第一に考えて進めてほしい。

(2) 協議事項第2号 「親子でおでかけ事業」期間中の運賃無料キャンペーンについて

→ 賛成多数により承認。

[主な意見・質疑応答等（協議事項第2号）]

1 無料きっぷがないと「無料」とならないのか。また、このきっぷはどこで配られるのか。

→ きっぷについては、各小学校を通じて配布される予定。保護者が運賃免除措置を受けるためには、無料きっぷを利用する小学生と同乗することが必要である。

2 子供が無料となるのか、あるいは保護者が無料となるのか。

→ 「親子でおでかけ事業」における運賃無料の対象者は、小学生である。今回のキャンペーンについては、町独自のものであり、立山町営バスの運賃を無料とする対象者を親子でおでかけ事業の無料きっぷを使った小学生の保護者にまで拡大したいという趣旨である。